



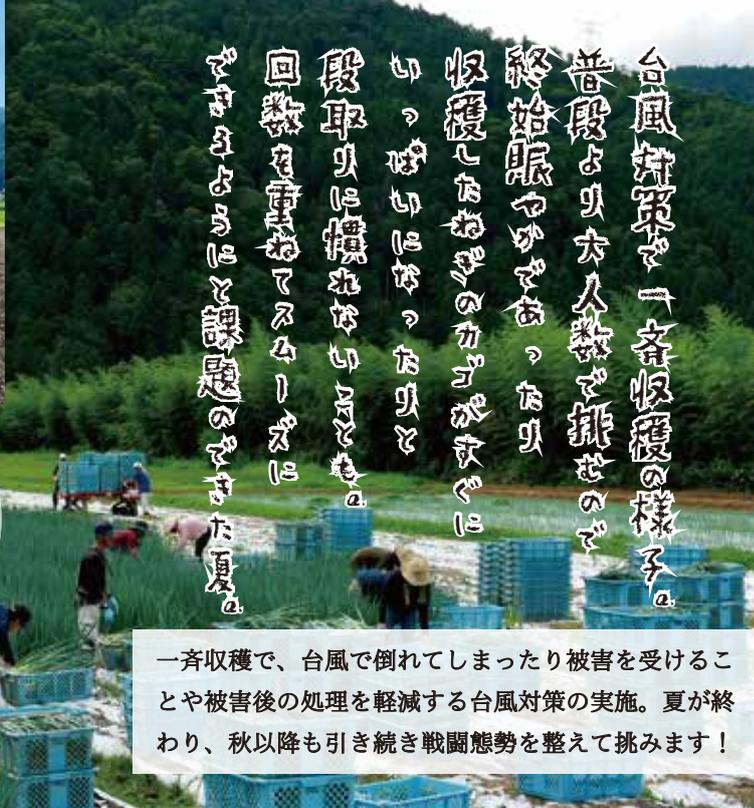
あまいろ



夏といえば、雲ひとつない「冴え渡る青い空」をイメージします。

「空色」より【夏】らしい空を表現する和色が存在し、「天色（あまいろ）」とされ、晴天の澄んだ空のような鮮やかな青色を指します。

春とも秋とも違ふ、夏だからこそこの活きた青空の色。暑さもひとしおですが、空からのエネルギーをカラダいっぱい感じます。



台風対策で「一齐収穫の様子」
普段より大人数で排せのぞ
終始賑やかであつた
収穫したお葱のカット作業に
いっしょにだつた
段取りに慣れた
回数を重ねてスムーズに
お葱の収穫と調理はまた夏

一齐収穫で、台風で倒れてしまったり被害を受けることや被害後の処理を軽減する台風対策の実施。夏が終わり、秋以降も引き続き戦闘態勢を整えて挑みます！

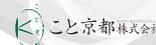
古都・事・言 3つの「こと」を伝えます

ことわざだより

NO.172

2021年9月号

TEL: 075-601-0668



KOTO GROUP
4A



今月のことねぎ

今月、みなさまにお届けする九条ねぎが京都でどのように育ったものなのか、物語（事）を少しでも知っていただき、より美味しく召し上がっていただければと思います。

夏の料理を爽やかに彩る、夏葱のお届けです

美山・亀岡で6月、ちょうど梅雨の時期に定植したねぎたち。梅雨明けから雨がほとんど降らず、一部は害虫にやられてしまい思うように生育が進みませんでした。灌水や補植、防除を行い初期生育を意識して実施。8月中旬からは逆に雨が続き、畝間に水がたまり続けるような状態になり病気リスクが大きくなることもありました。天候による影響に向き合い、蒸し暑い日々が続く中で農人たちが心を注いで生産した夏葱。収穫したては保冷庫で保管、活きの良さがあります！



倒伏被害が出てしまった亀岡の畑



美山の青々とした山の中での一齐収穫！



農人たちの畑での作業の様子、THE 農業！の現場の「こと」を発信

台風9号上陸、台風対策強化はまだまだ続く

台風発生当初は一度消えかけたりして、さほど影響がないとも予測されていましたが、今年一発目の台風対策を実施しました。主に北部の丹後・美山地方の影響が大きいと考え、一齐収穫・倒伏防止対策を北部メインで行いましたが、結果は影響が低いと予測していた亀岡地域で、多くの被害が出てしまいました。約1.2haのねぎが根本から倒伏。幸い、その前に一齐収穫で貯め込みができていたことと、その収穫圃場で見込みよりも多くねぎが収穫できていたので（農人たちの努力の賜物！）出荷量に響くことはありませんでした。

ただ、台風後は、倒伏して曲がったねぎを収穫・調整するのは時間がかかり、時間も限られている為の一部の圃場ではカット廃棄を余儀なくされたものもありました。大切に育てあげたねぎをカットして廃棄するというのは、いつも心が痛みます。ですが、カットしても再び伸びてきてくれるたくましいねぎたち。次は、必ず収穫できるように！と、初期生育から大事に育てていきます！

